

設立総会・記念シンポジウム

2016年(平成28年)

9月24日 田 13:30-16:00

人間環境大学 大府キャンパス3階【大講義室】

設立総会

13:30~14:20

設立の趣旨
決算報告、事業計画など

記念シンポジウム

14:30~16:00

ヒューマンヘルスケアの展望に向けて

座長

森 美智子 (人間環境大学大学院 看護学研究科 教授)

シンポジスト



伴 信太郎 (名古屋大学大学院 医学系研究科総合診療医学講座 教授)

「これからのヘルスケア－IPEからTPEへ」

IPE : 専門職連携教育 TPE : 住民参加型専門職連携教育



島内 節 (人間環境大学副学長, 大学院看護学研究科長 教授)

「在宅ケアの国際動向とわが国で急増するニーズへの課題対応の視点」



内田 伸子 (十文字学園女子大学 教授, お茶の水女子大学元副学長・名誉教授)

「児童虐待からの再生の鍵<愛着>～青年期は第二の誕生期～」

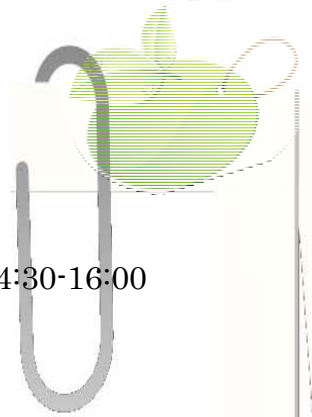
- 会場へのアクセス <http://www.uhe.ac.jp/kango/>
大学内に駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。
名古屋駅からJR東海道本線大府(おおぶ)駅下車 (快速で15分 普通で24分 徒歩4分)
改札を出て左(西口)に進み左折、陸橋を40m直進します。→右前方に人間環境大学の屋
上に大学の看板がみえます。→突き当たりエレベータで1階に降りて左折、右手に豊田
自動織機がみえます。→道なりに歩いて2分で右手に本学があります。

- 連絡先 〒474-0035 大府市江端町三丁目220番地
人間環境大学 大府キャンパス内 電話 0562-38-7157 E-mail jshhc@uhe.ac.jp



一般社団法人 日本ヒューマンヘルスケア学会

平成28年9月24日（土）設立総会13:30-14:20、設立記念シンポジウム14:30-16:00
設立記念シンポジウム 趣旨



ヒューマンヘルスケアの展望に向けて

座長 森美智子（人間環境大学大学院 看護学研究科 教授）

本学会は、保健医療・看護・福祉に関する学術的研究の発展と教育の普及を図り、健康課題への取り組みを通して社会貢献と文化の発展に寄与することを目的としております。人間学を深める場と考えております。

人の健康は、WHO の定義のように、単に病気や虚弱でないというだけではなく身体的健康・精神的健康・社会的健康のバランスがとれた状態が理想といえます。そして、人の生命や尊厳が護られることが重要といえます。

身体的には自然環境が守られ体力があり、精神的には希望を持ち、社会的には生活が安定し適切な教育を受け、家族・地域社会・学校職場等に豊かな人間関係がある状態、即ち心身の健康を追求する場となることを願い、「ヒューマンヘルスケアの展望に向けて」というテーマで設立記念シンポジウムを開催したいと思います。

高齢化が進み、65歳以上の人口は国民の約4人に1人で、2042年にはピークを迎え約3,900万人と推計されています。認知症高齢者の増加も見込まれ医療や介護の需要が、さらに増加することが予測されています。重度の要介護状態となっても、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援を、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるように、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を推進しています。

一方、社会の変化と少子化の問題が取り上げられ、対策が検討されています。いつの時代にあっても、子どもは大人へと成長発達し、その間に、生きる・護られる・育つ・尊重される権利とまでは言われなくとも、個々には愛情をかけられ育てられています。しかし、様々な要因で、子どもの育児環境が変化し問題が発生しています。大人は、自然な発達心理をわかり、子どもにとって望ましい社会を構築していく必要があります。

以上の視点から、各分野でご活躍の三名の先生がたに話題提供をお願いいたしました。

1. 総合診療医学分野：伴信太郎先生（名古屋大学大学院医学系研究科総合診療医学講座 教授）
「これからのヘルスケア－IPEからTPEへ」
2. 在宅看護学分野：島内節先生（人間環境大学副学長、大学院看護学研究科長 教授）
「在宅ケアの国際的動向とわが国で急増するニーズへの課題対応の視点」
3. 発達心理学分野：内田伸子先生（十文字学園女子大学 教授、
お茶の水女子大学元副学長・名誉教授）
「児童虐待からの再生の鍵〈愛着〉～青年期は第二の誕生期～」